

USB_Film_Sensor_Library

取扱説明書

2015/09/10 R01

Assembly Desk

USB_Film_Sensor_Library を使用すると、弊社製 静電容量式フィルムセンサからセンサ値を取得して表示する Windows アプリケーション(x86 版)を簡単に作成することができます。

ライブラリの使用方法は、サンプルコード (C#) を参照してください。ライブラリ関数の仕様は以下の通りです。

関数名	openUSB	
概要	静電容量式フィルムセンサボードと接続をします。	
宣言	SafeFileHandle openUSB(IntPtr hRecipient)	
戻り値の型	意味	
SafeFileHandle	USB DEVICE のハンドルを返します。失敗したら NULL を返します。	
引数の型	引数の名称	説明
IntPtr	hRecipient	ウィンドウハンドルを指定します。
※この関数は、静電容量式フィルムセンサボードが接続しているかの確認にも使用できます。接続している場合は、USB DEVICE のハンドルが返り、未接続の場合は NULL が返ります。		

関数名	closeUSB	
概要	静電容量式フィルムセンサボードとの接続を切断します。	
宣言	int closeUSB(SafeFileHandle HandleToUSBDevice)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。

関数名	get_SensorValue	
概要	静電容量式フィルムセンサボードから値を取得します。	
宣言	int get_SensorValue (SafeFileHandle HandleToUSBDevice , ref uint sensor_value, ref byte threshold, ref byte sensitivity)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。
uint	sensor_value	取得したセンサ値を返します。 センサ範囲 0x0000~0xFF00
byte	threshold	取得したしきい値を返します。
byte	sensitivity	取得した感度を返します。

関数名	set_SettingValue	
概要	静電容量式フィルムセンサボードに、設定値を書き込みます。	
宣言	int set_SettingValue(SafeFileHandle HandleToUSBDevice, byte threshold, byte sensitivity)	
戻り値の型	意味	
int	関数が成功すると 0 が返ります。失敗すると-1 が返ります。	
引数の型	引数の名称	説明
SafeFileHandle	HandleToUSBDevice	USB DEVICE のハンドルを指定します。
byte	threshold	設定するしきい値を指定します。 設定可能範囲 1~255
byte	sensitivity	設定する感度を指定します。 設定可能範囲 0~3

●更新履歴●

Revision	Version	日付	内容
R01	1.0.0.0	2015/09/10	初版